

うたごえ新聞

10/7
(1996年)
NO. 1591

THE SINGING VOICE
OF JAPAN (UTAGOE)

日本のうたごえ全国協議会機関紙
うたごえ新聞社
〒169 東京都新宿区大久保2-16-36
☎03(3209)0638 FAX03(3200)0105
振替口座 00120-6-5631 毎週月曜日発行
1部154円・税込(〒40円)・月615円・税込(〒160円)

みちのくの秋 染めて

'96日本のうたごえ祭典 イーハトーブC 8550人



▲音楽会Ⅱ「賢治の世界」より 指揮・滝沢三郎

みちのくで初めて開かれた日本のうたごえ祭典。'96年日本のうたごえ祭典「イーハトーブコンサートin盛岡」は、9月21日から22日、岩手県民会館大ホール他でのべ8550人が集い、音楽会I「みちのくの夢」、II「イーハトーブの風」共に超満員、大成功のうちに終わった。日本のうたごえ創立50周年に向けた「うたごえ50周年運動」展開の第一年度の年、みちのくから大きくうたごえ

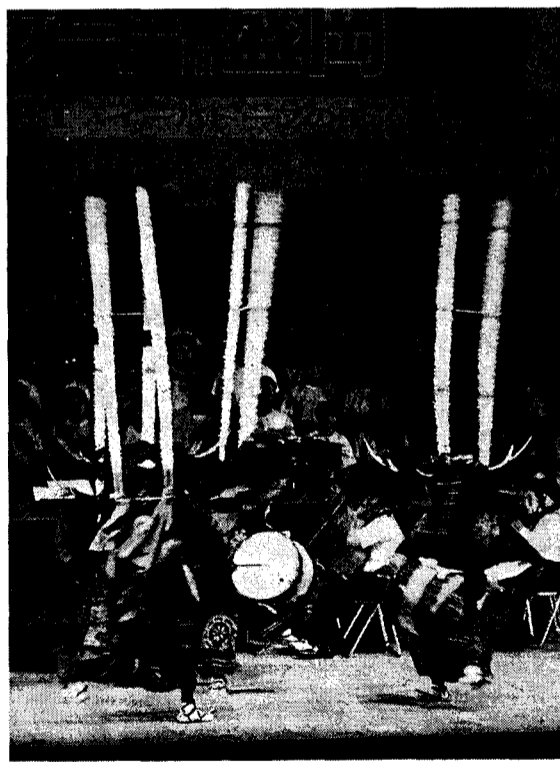
マコトの草の種マケリ

を巻き起こそうと、準備され文字どおり北海道から沖縄までが集う祭典となった。

音楽会Iは、岩手の南部百姓一揆の民衆のエネルギーを現代に伝えよう、合唱構成「さんさの鬼」、その息吹を現代に、16の産業別のうたごえで繰る総勢400人のスクラム・ウェーブ。その力を全国に広がる米軍基地撤去へ沖縄プログラムで構成。めりはりよく構成された3時間の音楽会はフィナーレ、沖縄、南風合唱団の伊波豊さんの指揮で「沖縄を返せ」の大合唱



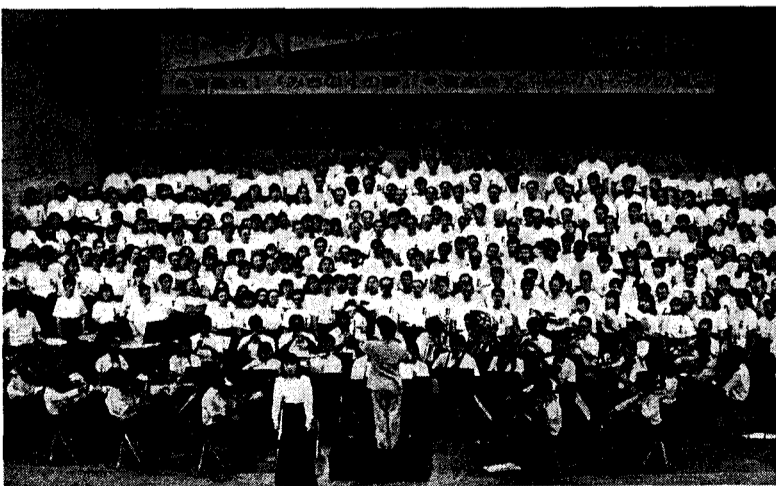
音楽会Ⅰ岩手から全国に送るメッセージ合唱構成「さんさの鬼」より



音楽会Ⅱ 賢治の愛した野性味あふれる鹿踊り (梁川金津流)

総勢7つもの郷土芸能保存会とドリムサウンス弦響(三味線)が出演。郷土芸能の豊かなみちのくならではのプログラム。「山車音頭上げ」で始まった音楽会Ⅱは、全国女性合同はじめ次々と大舞台の全国合同のうたごえ。中でも祭典準備の中で運動のひろがりから新たにプログラムされた音楽構成詩「未来への選択」は250人で演奏。HIV訴訟原告の川田龍平君も舞台上に立ち「人間の鎖」大合唱へ。祭典メイン企画の一つ、賢治の世界は東北のイーハトーブ合唱団、岩手県民オーケストラ40人はじめ、宮澤賢治の命日にあたるこの日、35

までいきいきと舞いだ。



▲全国合同「アメイジング・グレイス」指揮・池辺晋一郎、独唱・市来崎佳子、合唱・イーハトーブ合唱団、オーケストラ・岩手県民オーケストラ

0人の大合唱を響かせた(指揮・滝沢三郎氏)。昨年の「ピース・ウェーブコンサート95ひろしま」につづいて今回がオーケストラ初演になる「アメイジング・グレイス」を合唱・オーケストラの池辺晋一郎氏の指揮で演奏。フィナーレの全員合唱は、再来年のうたごえ創立50周年記念祭典大阪・東京へ、まず最初に開かれる再来年1月24、25日(25日、大阪ドーム)での再会を誓い閉幕した。

☆ ☆ ☆ この運動の提唱者「つながりあそび」うたごえ研究所の所長である二本松はじめ氏の大阪のある養護学校での話し。コンサートの途中、みんなの夢はなんですか、とたずねたら、ある子が一番で手をあげてくれたが、なかなか答えてくれない。時間もあって「後で答えてね」といってコンサートをすすめ、最後にもう一度たずねたが、やはり言葉にならない。終了後、担任の先生が二本松氏に近づいてきて衝撃的な言葉を伝えた。「あの子ども一度も学校でしゃべったことないのです……」二週間後、あの養護学校から手紙が研究所に届いた。しゃべらない彼がコンサート後、「おはようございます」とある朝先生に声をかけたという。あの子がしゃべった、学校中大きな歓声がわきおこったという。

うたごえ50周年へ、大きな一歩

☆ ☆ ☆ 大切な人間のつながりあいが意図的に断ち切られていない、少なくとも人がつながりあそび、うたごえをとおして、人間の言葉と心をとりもどそうとしていくことも事実である。(北)

